NEWSDIGEST.DE
06.04.2012

Navigator für Deutschen Wein

...

Winzer und Wein
Fritz Müller verperlt GmbH
(Rheinhessen)

Nachdem die Rebsorte Müller-Thurgau ihren guten Ruf verloren hatte, versuchte man sie durch eine Umbenennung zu Rivaner wieder zu beleben, was allerdings nicht gelungen ist. Ich (der Verfasser des Textes) glaubte aber an das Potenzial der Rebsorte von dem Zeitpunkt an, als ich gehört hatte, dass der Winzer Volker Raumland aus Rheinhessen, der exzellenten Sekte in traditionellem Herstellungsverfahren keltert, in seinem Studium einen Müller-Thurgau Sekt produzierte, der eine hohe Beliebtheit erlangte. An das Potenzial glaubten auch der Winzer Jürgen Hofmann und der Münchner Weinhändler Guido Walter. Die beiden brachten 2009 den trocknen Müller-Thurgau Perlwein „ Fritz Müller“ auf den Markt. Jürgen ist Winzer im Weingut Hofmann, Appenheim, Rheinhessen. Er kümmert sich um die Herstellung von Fritz Müller.

Ein Perlwein (Italienisch: Frizzante), der leicht und locker genossen werden kann, war wohl die perfekte Art, die Rebsorte zur Geltung zu bringen, so dass der Wein schnell einen hohen Beliebtheitsgrad erlangte. Heute ist er bei vielen Weinfachhändlern in den Großstädten in ganz Deutschland erhältlich. Der Name Müller stammt von Müller-Thurgau, der männliche Name Fritz ist eine Anspielung auf Frizzante. Da die Rebe Müller-Thurgau kaum noch neu gepflanzt wird, haben die für Fritz Müller verwendete Reben ein relativ hohes Alter. Teilweise werden bis zu 40 Jahre alte Reben verwendet. Die Qualität der Trauben ist entsprechend hoch. Frischer Apfel und Birne in der Nase, leicht in Geschmack, was zu der kommende Jahreszeit sehr gut passt. Jürgen und Guido haben der legendären und liebeswerten Rebsorte eine neue Perspektive erschaffen.

Junko Iwamoto
(frei übersetzt von Ken Takagi)

イツワインナビゲーター

順子

品種の話 1 ミュラー＝トゥルガウの130年

からは、前回ご紹介した土着品種の対極に
配品種をご紹介していきましょう。
とは、2つの異なる品種を掛け合わせて新
種を得る作業のことで、品種改良の一手法
交配によって、生産者が求めるワインを生
るような新しい品種のぶどうを育成できま
配品種を得るためには、人工授粉を行い、
り、畑で育てて木に成長させて、ぶどうが
を待たなければなりません。さらに、ぶど
や性質を確かめ、実ったぶどうから少量の
を造り、その香りや味覚などを調べ尽くし
新品種としてデビューさせるので、大変な
掛かります。また、これだけの手間を掛け
むような品種にならないこともあります。
学の先達、グレゴール＝ヨハン・メンデル
5年に公表したメンデルの法則は、1890年
オランダの植物学者ユーゴー・ド・フリー
数の研究者によって再発見され、品種改良
が到来しました。ドイツでは、フリースの
以前から多くの研究者が品種改良に携わっ
した。
ツで栽培されている交配品種のうち、最も
最もその名前が知られた交配品種が白品種
ラー＝トゥルガウ（Müller-Thurgau）です。
はドイツのほか、オーストリア、スイス、
ア北部、英国、さらにはニュージーランド、
日本でも栽培され、成果を挙げています。
品種が交配されたのは1882年のこと。交
のは、スイス・トゥルガウ出身の研究者ヘ
・ミュラー（Hermann Müller）で、場所
ゼンハイムの研究所でした。1891年、ミュ
ラーは転職を機にスイスに戻る際に、この新品種
の枝150本を一緒に持ち帰り、挿し木をして育て
ました。ある時、育成を担当していた栽培家のH・
シェレンベルク（H.Schellenberg）が、58番の木
のぶどうの質がとても良いことに気付きます。そ
れが、今日のミュラー＝トゥルガウとなりました。
そのミュラー＝トゥルガウが、バイエルンの栽
培学者テルン（Dr. Dern）によってドイツに戻され
たのは1913年。知名度が上がったのは、1921年
にヴュルツブルクのぶどう栽培研究所のツィーグ
ラー（Dr.Ziegler）が本格的な栽培に取り組んで
からのことです。ミュラー＝トゥルガウが正式に
品種リストに加わったのは1956年、クローンとし
て市場に出回るようになったのは1960年になっ
てからでした。
ミュラー＝トゥルガウが盛んに栽培されるよう
になった理由は、この新交配品種が気候や土壌を
あまり選ばないからです。あらゆる気候、土壌で
無理なく育ち、しっかりと収穫量を確保でき、味
わいは醸味柔らかで万人向けというこの新種の誕
生は農家にとってありがたいもので、白の栽培品
種の中では長年トップの座を維持してきた人気品
種でした。それと同時に、個性のないワインの大
量生産も始まります。しかし、本物志向の時代と
なった1990年代以降、人気が陰り始め、徐々にリー
スリングにその地位を奪われていきました。
ミュラー＝トゥルガウは当初、母方がリースリ
ング、父方がシルヴァーナーと言われていました
が、1998年に行われた遺伝子分析で、母方がリー
スリング、父方がマドレーヌ・ロイアル（Madeleine
Royale）と判明しました。
もとじゅんこ：翻訳者、ライター。ハンブルク在住。ドイツとブラジルを往復しながら、主に両国の食生活、ワイン造り、
品開発などを取材中。著書に『おいしいワインが出来た！』（講談社文庫）、『ドイツワイン、偉大なる造り手たちの肖像』（新
星出版）ほか。www.junkoiwamoto.com

醸造所＆ワインナビ 050

Fritz Müller verperlt GmbH
（ラインヘッセン地方）

ミュラートゥルガウの人気が陰り始めた頃、人気挽回を
狙って「リリアーナー」という別称が与えられたが、この新名
称はあまり定着せず、イメージアップにはさほど貢献しなかっ
た。しかし筆者は、ラインヘッセン地方の醸造家で、伝統製
法による発泡なセクトを生み出しているフォルカー・ラウムラ
ントが大学時代に造ったミュラートゥルガウのセクトが、当
時高い評価を得たという話を聞いて以来、ミュラートゥルガ
ウにも可能性があるはずと思っていた。その可能性に挑戦し
たのが、醸造家ユルゲン・ホフマンとミュンヘンのワイン商ギ
ド・ヴァルターの2人。2009年に、ミュラートゥルガウの辛
口のパールワインを「フリッツ・ミュラー」の名前でリリースし
た。ユルゲンは、ラインヘッセン地方アッペンハイムにある
ホフマン醸造所のオーナー。「フリッツ・ミュラー」の醸造は彼
が担当している。

Fritz Müller verperlt GmbH
Jürgen Hofmann & Guido Walter
Vor dem Klopp 4, 55437 Appenheim
Tel. 06725-3328
www.fritzmueller.fm

Fritz Müller Pearlwein

フリッツ・ミュラー　パールワイン　6.50€

気取らず気軽に楽しめる「パールワイン（イタリア語でフリッ
ツァンテ）は、ミュラートゥルガウという品種を活かせる絶
好のスタイルだったのか、「フリッツ・ミュラー」はリリース
後、大人気を博し、今や大都市のデパートや主なワインショッ
プなら大抵どこでも手に入るようになった。ブランド名のミュ
ラーはミュラートゥルガウ、男性名のフリッツはフリッツァ
ンテの意味も兼ねている。ミュラートゥルガウが新たに植樹
されることはほとんどないため、フリッツ・ミュラーに使用され
るミュラートゥルガウの樹齢は全体的に高く、中には40年
を経たぶどうの樹もあり、ぶどうの凝縮も高い。爽やかなりん
ごや梨の香り、軽快な味わいは、これからの季節にぴったり。
ユルゲンとギド は、今や伝統品種とも言える愛すべき品種に
新たな可能性を拓いた。